

令和 8 年 5 月  
水 産 庁

インド洋まぐろ類委員会（<sup>アイオーティーシー</sup> I O T C）第 30 回年次会合の結果について

**1 I O T C（インド洋まぐろ類委員会）**

インド洋におけるかつお・まぐろ類の資源管理を行う国際機関。  
メンバーは日本、韓国、中国、EU、インド洋沿岸等 29 カ国・地域。

**2 日時・場所**

令和 8 年 5 月 11 日（月）から 15 日（金）まで、マレ（モルディブ）  
及びウェブ会議併用で開催。

**3 我が国出席者**

鈴木水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室長（政府代表）ほか、  
水産庁、外務省等。

**4 結果**

- （1）キハダの国別漁獲上限の改定（参考 1）について合意された。我が国は、現行と同水準の 4,003 トン。
- （2）メカジキの主要漁獲国への国別漁獲上限（参考 2）について新規措置として合意された（我が国は漁獲上限設定の対象外）。
- （3）次回年次会合は、来年 5 月に開催予定（開催地未定）。

【参考1：キハダの管理措置】

● 総漁獲可能量（TAC）は 436,867 トン（2027～2028 年）

● 国別漁獲上限（トン）

|                      | 現行の漁獲上限<br>(2021 年決議) | 新たな漁獲上限<br>(2027, 2028 年) |
|----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 中国                   | 4,641                 | 4,641                     |
| 台湾                   | 10,688                | 10,688                    |
| コモロ                  | 5,279                 | 6,000                     |
| EU                   | 73,078                | 73,078                    |
| インド※ <sup>1</sup>    | —                     | 25,000                    |
| インドネシア               | 45,426                | 45,426                    |
| イラン※ <sup>1</sup>    | —                     | 42,000                    |
| 日本                   | 4,003                 | 4,003                     |
| ケニア                  | 3,654                 | 6,000                     |
| 韓国                   | 9,056                 | 9,056                     |
| モルディブ                | 47,195                | 47,195                    |
| マダガスカル※ <sup>1</sup> | —                     | 5,000                     |
| モーリシャス               | 10,490                | 10,990                    |
| オマーン※ <sup>1</sup>   | —                     | 25,000※ <sup>2</sup>      |
| パキスタン                | 14,468                | 14,468                    |
| セイシェル                | 39,577                | 39,577                    |
| ソマリア※ <sup>1</sup>   | —                     | 5,000                     |
| スリランカ                | 33,245                | 33,245                    |
| タンザニア                | 3,905                 | 6,000                     |
| イエメン                 | 16,474                | 20,500                    |

※<sup>1</sup>：現行措置に異議申立している加盟国。

※<sup>2</sup>：オマーンは、2031 年までに上記漁獲上限まで段階的に漁獲量を削減。

● その他の国は、漁獲量が 2 年連続で 3,000 トンを超えた場合に漁獲上限の設定を検討。

【参考2：メカジキの管理措置（新規）】

- 総漁獲可能量（TAC）は 30,527 トン（2027～2028 年）

- 国別漁獲上限

|        | 新たな漁獲上限<br>(2027, 2028 年) |
|--------|---------------------------|
| スリランカ  | 7,977                     |
| EU     | 6,356                     |
| 台湾     | 3,358                     |
| インドネシア | 3,263                     |
| 中国     | 1,766                     |
| インド    | 1,751                     |
| イラン    | 1,595                     |

- その他の国は、漁獲量が 2 年連続で 1,500 トンを超えた場合に漁獲上限の設定を検討。